

ご家庭での備え

大規模な災害が発生すると、自治体を中心に関連機関が復旧に全力を尽くします。上下水道事業所でも応急給水を開始するなど、飲み水を確保できるよう全力を尽くしますが、交通事情等で、すぐに給水車がくるとは限りません。

災害に備えて、普段から、ご家庭でも水の備えをお願いします。

◆ 水のくみ置きを習慣にしましょう

・ くみ置きの目安

3リットル×家族の人数×3日分

・ 保存方法

よく洗浄したペットボトルなどの容器に、なるべく空気が入らないように口いっぱいまで詰めて保存してください。

・ 保存期間（飲料水として使用できる日数）

水道水には消毒のため塩素が含まれています。保存期間はこの塩素が残留している期間となります。また、気温や日射、容器の状態により、保存期間は大きく異なります。冷暗所で保存した場合には4日間程度、冷蔵庫で保存した場合には、1カ月程度まで飲用できます。

なお、保存期間を過ぎた水は、飲料水以外に有効にご活用ください。

・ 注意点

くみ置きの水は「水道水」を使ってください。浄水器を通した水は消毒効果が薄れている可能性があります。

● 給水を受ける容器などを準備しておきましょう

- ・ 災害が発生してからでは、容器が売り切れになることもあります。普段から準備しておきましょう
- ・ 鍋やバケツで運ぶときにこぼれてしまいます。ふたのついた容器を準備しましょう

● 身の安全が確認できたら、水道水が出るか確認しましょう

- ・ 災害直後は水道が出ても、後で断水になることがあります。
- ・ 鍋、バケツ、洗い桶、浴槽などにくみ置きしましょう

* 災害時には、ご近所の高齢者や障害のある方に水を届けてください

水は意外と重いものです。

ご近所の高齢者や障害のある方への給水への協力など、地域のみなさまの相互の助け合いをお願いします。